

ウィルティンガーの不等式【類題】

$a, b$  を実数の定数とし、

$$f(x) = a \sin x + b \sin 2x$$

とするとき、 $\int_0^\pi \{f(x)\}^2 dx$  と  $\int_0^\pi \{f'(x)\}^2 dx$  との大きさを比較せよ。

< '64 電気通信大 >

【戦略】

$$\{f(x)\}^2 = a^2 \sin^2 x + 2ab \sin 2x \sin x + b^2 \sin^2 2x$$

ですが、半角公式、積和公式を用いてほぐせば

$$\{f(x)\}^2 = \frac{a^2 + b^2}{2} + ab \cos x - \frac{a^2}{2} \cos 2x - ab \cos 3x - \frac{b^2}{2} \cos 4x$$

となります。

積分計算の要は、 $\int_0^\pi \cos x dx$ ,  $\int_0^\pi \cos 2x dx$ ,  $\int_0^\pi \cos 3x dx$ ,  $\int_0^\pi \cos 4x dx$

ということになりますが、面倒なので、 $\int_0^\pi \cos mx dx$  ( $m=1, 2, \dots$ ) と

して計算してしまえばよいでしょう。

一方で、 $f'(x) = a \cos x + 2b \cos 2x$  ですから

$$\{f'(x)\}^2 = a^2 \cos^2 x + 4ab \cos 2x \cos x + 4b^2 \cos^2 2x$$

で、同様に半角公式、積和公式でほぐせば

$$\{f'(x)\}^2 = \frac{a^2 + 4b^2}{2} + 2ab \cos x + \frac{a^2}{2} \cos 2x + 2ab \cos 3x + 2b^2 \cos 4x$$

となり、先ほど  $\int_0^\pi \cos mx dx$  ( $m=1, 2, \dots$ ) を導出していますから解決です。

【解答】

$$\begin{aligned} \{f(x)\}^2 &= a^2 \sin^2 x + 2ab \sin 2x \sin x + b^2 \sin^2 2x \\ &= a^2 \cdot \frac{1 - \cos 2x}{2} - ab(\cos 3x - \cos x) + b^2 \cdot \frac{1 - \cos 4x}{2} \\ &= \frac{a^2 + b^2}{2} + ab \cos x - \frac{a^2}{2} \cos 2x - ab \cos 3x - \frac{b^2}{2} \cos 4x \end{aligned}$$

ここで、自然数  $m$  に対して

$$\int_0^\pi \cos mx dx = \left[ \frac{1}{m} \sin mx \right]_0^\pi = 0 \dots \textcircled{1}$$

$$\text{よって、} \int_0^\pi \{f(x)\}^2 dx = \frac{a^2 + b^2}{2} \pi$$

一方、 $f'(x) = a \cos x + 2b \cos 2x$  であり

$$\begin{aligned} \{f'(x)\}^2 &= a^2 \cos^2 x + 4ab \cos 2x \cos x + 4b^2 \cos^2 2x \\ &= a^2 \cdot \frac{1 + \cos 2x}{2} + 2ab(\cos 3x + \cos x) + 4b^2 \cdot \frac{1 + \cos 4x}{2} \\ &= \frac{a^2 + 4b^2}{2} + 2ab \cos x + \frac{a^2}{2} \cos 2x + 2ab \cos 3x + 2b^2 \cos 4x \end{aligned}$$

$$\textcircled{1} \text{ より、} \int_0^\pi \{f'(x)\}^2 dx = \frac{a^2 + 4b^2}{2} \pi$$

したがって、

$$\begin{aligned} \int_0^\pi \{f'(x)\}^2 dx - \int_0^\pi \{f(x)\}^2 dx &= \frac{a^2 + 4b^2}{2} \pi - \frac{a^2 + b^2}{2} \pi \\ &= \frac{3b^2 \pi}{2} \\ &\geq 0 \end{aligned}$$

ゆえに、 $\int_0^\pi \{f'(x)\}^2 dx \geq \int_0^\pi \{f(x)\}^2 dx$  (等号成立は  $b=0$  のとき)

$$\text{以上から、} \begin{cases} b \neq 0 \text{ のとき } \int_0^\pi \{f'(x)\}^2 dx > \int_0^\pi \{f(x)\}^2 dx \\ b = 0 \text{ のとき } \int_0^\pi \{f'(x)\}^2 dx = \int_0^\pi \{f(x)\}^2 dx \end{cases} \dots \textcircled{\square}$$

【総括】

三角関数の式変形の運用能力と、積分計算の基礎がしっかりできていれば、問題なく跳ね返せる問題です。